

第7章 街づくり 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト			活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、東西クリーンセンターの地元周辺における下水道整備については、一定の成果があげられていると考える。 今後も廃棄物処理施設の必要性を理解し、市政にご協力頂いている周辺地区住民の生活環境の向上等が図られるよう努める。	H29年度に改善した点	有	有					
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	67,218	60,755	下水道布設延長	下水道布設総延長	地元地区環境整備保全委員会と協議を行い、下水管の布設箇所を決定しているため、下水道布設延長を指標とする。				H29年度に改善した点							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析			今後の下水道整備等について、地元地区環境整備保全委員会や地元自治会と協議を行った。				
	清掃施設周辺整備事業	下水道法	88,001	74,900	386.9m	386.9m	9,634m	9,693.5m			10,033m			10,080.4m	目標達成済	地元自治会等には、下水道整備に関して強い要望があることから、早急に整備が完了できるよう、関係課と調整を図りながら事業に取り組んでいく。		
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
		東部クリーンセンター及び西部クリーンセンターの建設に伴い、廃棄物処理施設の必要性を理解し、ご協力頂いている周辺地区への地域還元として、住民の意向等を踏まえながら清掃施設周辺整備事業を実施しており、その一環として、下水道整備等を進めているところである。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
期間	H10年度～	2,715千円	0.00人	0.00人	0.00人	2,744千円	0.00人	0.00人	0.00人	2,715千円	0.00人	0.00人	0.00人					
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成29年度目標を約97%達成し、第3期市街化調整区域下水道整備事業(整備面積約125.9ha)に係る整備率も75%となり、着実に成果があげられている。	H29年度に改善した点	有	有					
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,130,768千円	1,116,822千円	汚水管の整備面積	整備面積	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。				H29年度に改善した点							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析			道路事情から工事による通行止めや迂回など住民生活への影響が大きい地区では、きめ細かく発注時期を調整したり、地元の要望に沿った時間帯での施工を行うことで影響を最小限にとどめた。				
	下水道管渠布設事業	下水道法、都市計画法、環境基本法	1,607,843千円	1,555,080千円	23.1ha	23.1ha	21ha	19.1ha			23.7ha			23.1ha	下水道布設工事の1件で平成30年3月に受注者より「工事契約継続不能届」が提出され未完成となり、当該工事の施工延長が約40%減少したため、予定整備面積を下回ったものである。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
		市街化区域の下水道整備は、平成14年度で完了し、引続き市街化調整区域の整備事業を平成15年度より開始した。平成27年度から第3期市街化調整区域の面整備事業を実施している。下水道未整備区域の汚水管整備を進め、生活環境及び公共用水域の水質を改善し、快適な生活環境を構築する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
期間	S32年度～	10,62人	0.00人	0.00人	0.00人	90,111千円	0.00人	0.00人	0.00人	90,111千円	0.00人	0.00人	0.00人					
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	平成29年度・30年度の継続工事である岩岡雨水1号幹線築造工事に着手し、平成29年度分の出来高が予定どおり達成されている。	H29年度に改善した点	有	有					
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	9,386千円	9,295千円	雨水管等整備	年度別整備面積 年度別設置箇所数	雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の完了箇所数が増加することで、目標達成の成果が把握できるので指標とする。				H29年度に改善した点							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析			ゲリラ豪雨等による浸水被害の早期軽減を図るため、埼玉県と設立した協議会で検討を進める中で、被害の大きかった市内2地区について河川と下水道の一体的な整備を行うための連携施策をまとめ、HP等に掲載すべく準備を進めた。				
	雨水対策事業	下水道法、都市計画法	305,147千円	305,046千円	0ha	0箇所	0ha・0箇所	0.1ha・0箇所			0ha・0箇所			0ha・0箇所	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
		雨水を速やかに排除し、浸水・冠水等を防ぐ。集中豪雨時の浸水・冠水被害発生地域の把握と状況調査を実施する。調査結果に基づき、雨水対策地域の把握及び方法の検討を行う。冠水被害が頻繁に発生している地区の雨水整備を実施する。緊急に雨水整備が必要とされる地区における暫定措置として、雨水浸透井を築造する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
期間	S32年度～	2.83人	0.00人	0.00人	0.00人	24,013千円	0.00人	0.00人	0.00人	24,013千円	0.00人	0.00人	0.00人					
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。平成29年度をもって「緊急計画」は完了した。今後は平成30年度から始まる「中期計画」に基づき予定箇所の耐震化工事を進めていく。	H29年度に改善した点	有	有					
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	214,975千円	213,333千円	マンホールの地震対策	完了箇所数	完了箇所数が増加することで目標達成の成果が把握できるので、完了箇所数を指標とする。				H29年度に改善した点							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析			マンホールの耐震化工事において、移設困難な地下埋設物が支障となり、開削による耐震化工事が困難なマンホールについて工法検討を行い、非開削による内面補強工法を採用して所定の耐震性能を確保した。				
	下水道地震対策事業	下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策実施要綱	47,032千円	45,339千円	12箇所	12箇所	9箇所	9箇所			12箇所			12箇所	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
		下水道は重要なライフラインであり、震災等により機能が停止した場合、排水不能や損壊による道路陥没が原因の交通事故や渋滞で物資供給が停滞するなど市民生活に甚大な影響を及ぼすことから、既存施設の地震対策を実施する。緊急輸送路や軌道下に埋設されている管渠やマンホールについて、補強・再構築工事を実施する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合													H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合
期間	H21年度～	2.55人	0.00人	0.00人	0.00人	21,637千円	0.00人	0.00人	0.00人	21,637千円	0.00人	0.00人	0.00人					

第7章 街づくり 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	計画どおり、平成29年度より改築事業を実施。緊急度 延長890mのうち、平成29年度は予定どおり214mの更生工事を実施し、長寿命化対策により耐用年数の延伸を図ることができた。	H29年度に改善した点	有	有		
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	20,000千円	19,656千円	改築延長 183m	詳細設計委託(平成28年度) 改築延長(平成29年度) 改築延長(平成30年度)	緊急度 〃 の改築延長 実施延長 / 計画延長								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)												
	下水道長寿命化対策事業	下水道法	27,000千円	30,132千円	実績	1件	1件	H29目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		早期に下水道事業を開始した所沢地区の管路施設が耐用年数を迎え、老朽化による損傷が増加しているため、事故によるサービス低下を防止する。 ・本管の布設替え又は更生 ・取付管の布設替え又は更生 ・マンホール蓋の取替	0.50人	0.00人											
H29正規職員人件費		H29その他職員従事割合	4,288千円	0.00人											
期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	3.45人	0.00人	改築延長 214m	183m	214m	目標達成済							
H23年度～	29,273千円	0.00人	403m												
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	現年度分収納率については、目標値の98%に対し、わずかに下回る結果となってしまった。平成30年度は、前年度に引き続き市民の目線に立った丁寧な説明や説得を行うとともに、第一環境(株)による年2回の訪問徴収のほかに、職員による自宅訪問の回数を増やすなどして、受益者負担金に対する対象者の理解を深め、徴収の強化を図っていく。	H29年度に改善した点	無	無		
	-	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,503千円	1,081千円	収入済額	現年度分収納率	収入済額 / 調定額(収入すべき額)								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)												
	受益者負担金賦課徴収事業	都市計画法第75条、所沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例	277千円	162千円	実績	98.00%	98.10%	H29目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		下水道の整備により利益を受ける人に建設費の一部の負担を求めることにより、公共下水道の整備を推進する。 ・公共下水道整備地区の土地所有者等に対し、事業説明会、申告受付を経て、対象となる土地の面積に単価を乗じて負担額を決定する。 ・市街化調整区域の土地の面積に乘じる単価は、平成27年度より1㎡当たり1,030円となった。 ・納付方法は、5年間の分割納付が基本であるが、希望により一括納付もできる。	2.15人	0.00人											
H29正規職員人件費		H29その他職員従事割合	18,436千円	0.00人											
期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	1.05人	0.00人	112,601,500円 (H29年度調定分)	98.00%	97.79%	通常の督促状、催告書、特別催告書の送付のほか、委託業者による年2回の訪問徴収も実施したが、目標を達成することができなかった。平成30年度は職員による自宅訪問の回数を増やすなどして徴収を強化したい。							
S44年度～	8,909千円	0.00人	49.34%	98.00%											
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望等には、概ね対応できた。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い、直営又は業者による対応を迅速に行ったためである。	H29年度に改善した点	有	有		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	636,529千円	510,979千円	1年間に清掃した管渠延長	改善要望対応件数	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等 (目標値 = 要望件数、実績 = 完了総数)								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)												
	下水道維持管理事業	下水道法	2,290,429千円	2,086,598千円	実績	144件	144件	H29目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		下水道は、市民の安全で快適な生活を確保するために重要なライフラインである。適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させるとともに継続的に利用できる環境を整える。 土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃 老朽化している施設の更新 下水道施設から発生する臭気対策、不明管・侵入水等のテレピカメラを使用した原因調査 降雨災害防止のための対策及び巡視 市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底	22.40人	0.00人											
H29正規職員人件費		H29その他職員従事割合	192,080千円	0.00人											
期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	18.10人	0.00人	7,078.5m	100件	157件	目標達成済							
S33年度～	153,579千円	0.00人	614個	100件											
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望等には、概ね対応できた。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い、直営又は業者による対応を迅速に行ったためである。また、平成27年度から委託料が減額となったことを受け、直営による定期的なスクリーン点検、清掃作業を行い、未然に事故を防止した。	H29年度に改善した点	有	有		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	32,925千円	32,314千円	1年間にしゅんせつした堆積土の量	改善要望対応件数(平成29年度まで) 調整池のパトロール(平成30年度から)	(平成29年度まで) 除草要請、ごみ撤去等 (目標値 = 要望総数、実績 = 完了総数) (平成30年度から) 調整池の適切な維持のために週1回のパトロール実施(月4回×12か月)								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)												
	都市下水路維持管理事業	下水道法	58,292千円	57,731千円	実績	11件	10件	H29目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		浸水のない快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水路及び調整池を適切に管理する。 堆積土のしゅんせつ 除草、樹木の剪定 施設の補修及び改良工事 降雨災害防止のための対策及び巡回	4.30人	0.00人											
H29正規職員人件費		H29その他職員従事割合	36,873千円	0.00人											
期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	3.00人	0.00人	360㎡	3件	1件	目標達成済							
S45年度～	25,455千円	0.00人	68,410㎡	48回											